

2022年3月期  
第1四半期(4月1日～6月30日)  
連結決算の概要

ロート製薬株式会社  
経理財務部  
2021年8月10日

---

# 2022年3月期第1四半期の概況

## □ 概況

- 新型コロナウイルス感染症の変異株による再拡大が進んだものの、ワクチン接種の進展や自粛疲れもあり**実質15.4%の増収**。利益面でも増収に加え費用の効率的な活用により**全ての利益段階で大幅な増益**。

## □ 国内市場は増収増益

- 前期に外出自粛の影響を受けた日焼け止めなどが増収となったことに加え、「メラノCC」や「デオコ」など話題の商品は好調持続。
- **新収益認識基準を適用でも増収増益**。インバウンド需要は、越境ECが堅調。
- 原価率低減や販促広告費の効率的活用。

## □ 海外も増益

- 前期に大きく落ち込んだ**中国や香港が回復したことに加え、インドネシアやベトナムなどASEAN諸国も増収**。
- 欧米諸国も回復傾向。

## □ 通期業績予想は据え置き

- **天藤製薬の業績寄与は下期に織り込む予定**。

# 連結損益

※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

(単位 百万円,%)

|                   | 2022年3月期<br>第1四半期<br>(新基準) | 売上高比  | 2021年3月期<br>第1四半期<br>(旧基準) | 増減額    | 増減率   |
|-------------------|----------------------------|-------|----------------------------|--------|-------|
| 売上高               | 42,315                     | 100.0 | 38,641                     | 3,673  | 9.5   |
| 売上原価              | 18,188                     |       | 16,580                     | 1,608  | 9.7   |
| 原価率               | 43.0                       |       | 42.1                       |        |       |
| 販管費               | 18,118                     | 42.8  | 18,486                     | △368   | △2.0  |
| 販促費               | 2,391                      | 5.7   | 4,364                      | △1,937 | △45.2 |
| 広告費               | 4,749                      | 11.2  | 3,676                      | 1,072  | 29.2  |
| 研究費               | 1,885                      | 4.5   | 1,686                      | 199    | 11.8  |
| その他               | 9,092                      |       | 8,759                      | 333    | 3.8   |
| 営業利益              | 6,008                      | 14.2  | 3,575                      | 2,433  | 68.1  |
| 経常利益              | 6,521                      | 15.4  | 3,802                      | 2,719  | 71.5  |
| 親会社株主に<br>帰属する純利益 | 4,731                      | 11.2  | 1,747                      | 2,984  | 170.8 |

為替レート:USDドル=108.99円(前年同期 107.57円)

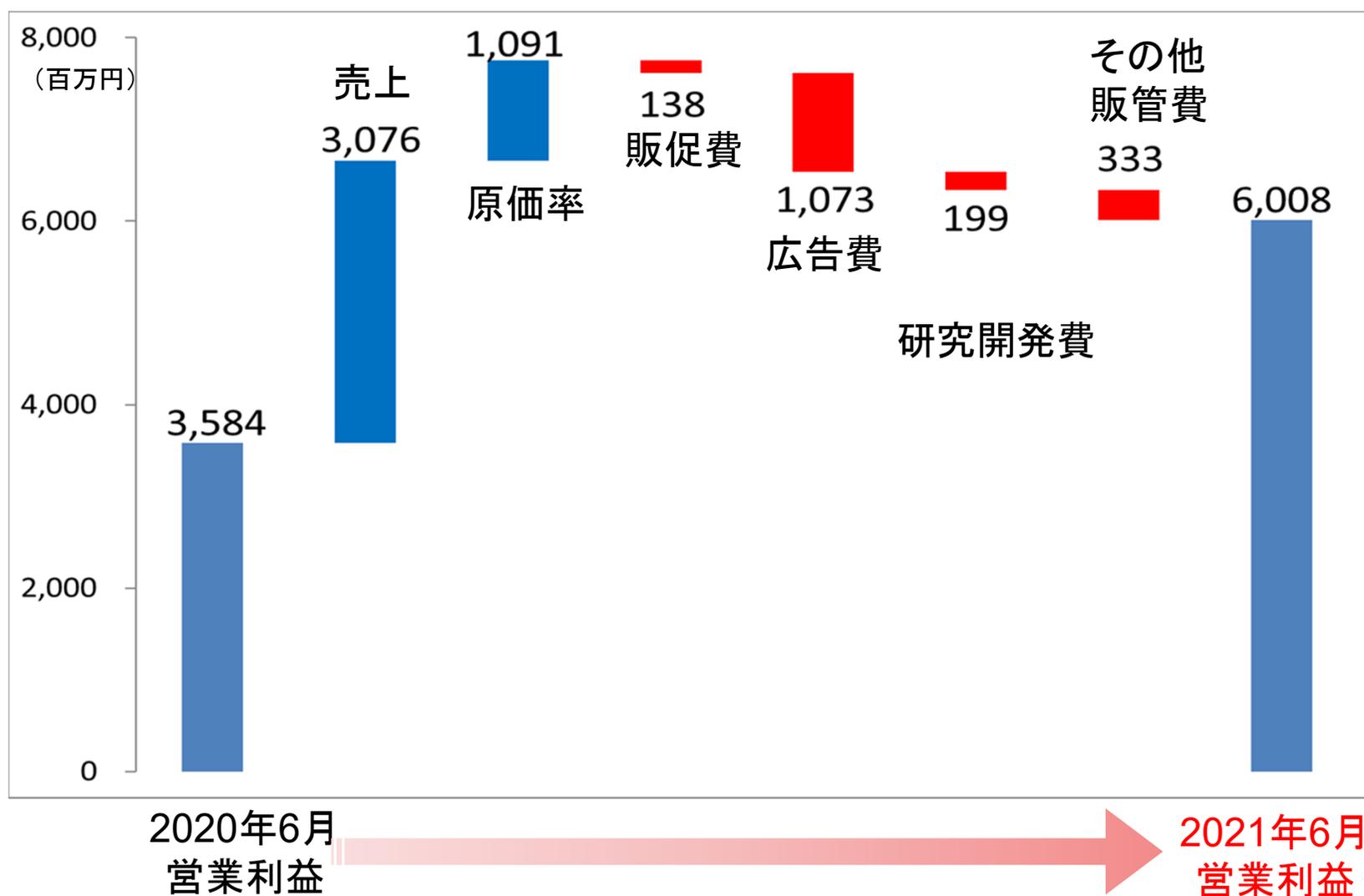
# 新収益認識基準の適用による影響

## □2021年度より新収益認識基準を適用

(単位:百万円、未満切捨,%)

|                     | 2020年6月期<br>(旧基準) | 2020年6月期<br>(新基準) | 売上比   | 2021年6月期<br>(新基準) | 売上比   | 増減額<br>(新基準) | 前期比   |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------|-------------------|-------|--------------|-------|
| 売上高                 | 38,641            | 36,663            | 100.0 | 42,315            | 100.0 | 5,651        | 15.4  |
| 売上総利益               | 22,061            | 19,959            | 57.9  | 24,126            | 57.0  | 4,167        | 20.9  |
| 営業利益                | 3,575             | 3,584             | 10.0  | 6,008             | 14.2  | 2,424        | 67.6  |
| 経常利益                | 3,802             | 3,811             | 10.6  | 6,521             | 15.4  | 2,710        | 71.1  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,747             | 1,756             | 5.0   | 4,731             | 11.2  | 2,974        | 169.3 |
| 1株当たり<br>当期純利益(円)   | 15.32             | 15.40             |       | 41.48             |       |              |       |

# 連結営業利益の増減(新基準の比較)



※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

# 報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨,%)

|                  | 2020年6月期<br>(旧基準) |        | 2020年6月期<br>(新基準) |        | 2021年6月期<br>(新基準) |        |       |       |      |
|------------------|-------------------|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|-------|-------|------|
|                  | 金額                | 構成比    | 金額                | 構成比    | 金額                | 構成比    | 増減額   | 増減率   |      |
| 売上高              | 38,641            | 100.0  | 36,663            | 100.0  | 42,315            | 100.0  | 5,651 | 15.4  |      |
| 報告セグメント          | 日本                | 25,943 | 67.1              | 23,965 | 65.4              | 26,380 | 62.3  | 2,414 | 10.1 |
|                  | アジア               | 8,295  | 21.5              | 8,295  | 22.6              | 10,844 | 25.6  | 2,548 | 30.7 |
|                  | アメリカ              | 2,130  | 5.5               | 2,130  | 5.8               | 2,021  | 4.8   | △109  | △5.1 |
|                  | ヨーロッパ             | 1,852  | 4.8               | 1,852  | 5.1               | 2,580  | 6.1   | 727   | 39.3 |
|                  | 計                 | 38,222 | 98.9              | 36,244 | 98.9              | 41,826 | 98.8  | 5,581 | 15.4 |
| その他              | 419               | 1.1    | 419               | 1.1    | 488               | 1.2    | 69    | 16.7  |      |
| 為替レート<br>(USD/円) | 107円57銭           |        | 107円57銭           |        | 108円99銭           |        |       |       |      |

※ 売上高は外部顧客に対するものです

※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

# 報告セグメント別営業利益

(単位:百万円、未満切捨,%)

|                  | 2020年6月期<br>(旧基準) |       | 2020年6月期<br>(新基準) |       | 2021年6月期<br>(新基準) |       |       |       |       |
|------------------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|
|                  | 金額                | 構成比   | 金額                | 構成比   | 金額                | 構成比   | 増減額   | 増減率   |       |
| 営業利益             | 3,575             | 100.0 | 3,584             | 100.0 | 6,008             | 100.0 | 2,424 | 67.6  |       |
| 報告セグメント          | 日本                | 2,587 | 72.4              | 2,596 | 72.4              | 3,913 | 65.1  | 1,316 | 50.7  |
|                  | アジア               | 1,054 | 29.5              | 1,054 | 29.4              | 1,603 | 26.7  | 549   | 52.1  |
|                  | アメリカ              | △69   | —                 | △69   | —                 | 106   | 1.8   | 176   | —     |
|                  | ヨーロッパ             | 58    | 1.6               | 58    | 1.6               | 235   | 3.9   | 176   | 300.1 |
|                  | 計                 | 3,630 |                   | 3,640 |                   | 5,859 |       | 2,219 | 61.0  |
| その他              | 29                | 0.8   | 29                | 0.8   | 37                | 0.6   | 7     | 26.9  |       |
| 調整額              | △85               |       | △85               |       | 111               |       | 196   |       |       |
| 為替レート<br>(USD/円) | 107円57銭           |       | 107円57銭           |       | 108円99銭           |       |       |       |       |

※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

# 日本 大幅増収増益

|      |           |       |        |
|------|-----------|-------|--------|
| 売上高  | 263億80百万円 | 前年同期比 | 10.1%増 |
| 営業利益 | 39億13百万円  | 同     | 50.7%増 |

## □ 新型コロナウイルスの影響が一巡

□ 日焼け止め等回復

## □ 高付加価値品堅調

□ 高額目薬



## □ 話題の商品が好調

□ デオコ

□ ロートV5粒

□ メラノCC



※前年同期を新基準にした際の比較

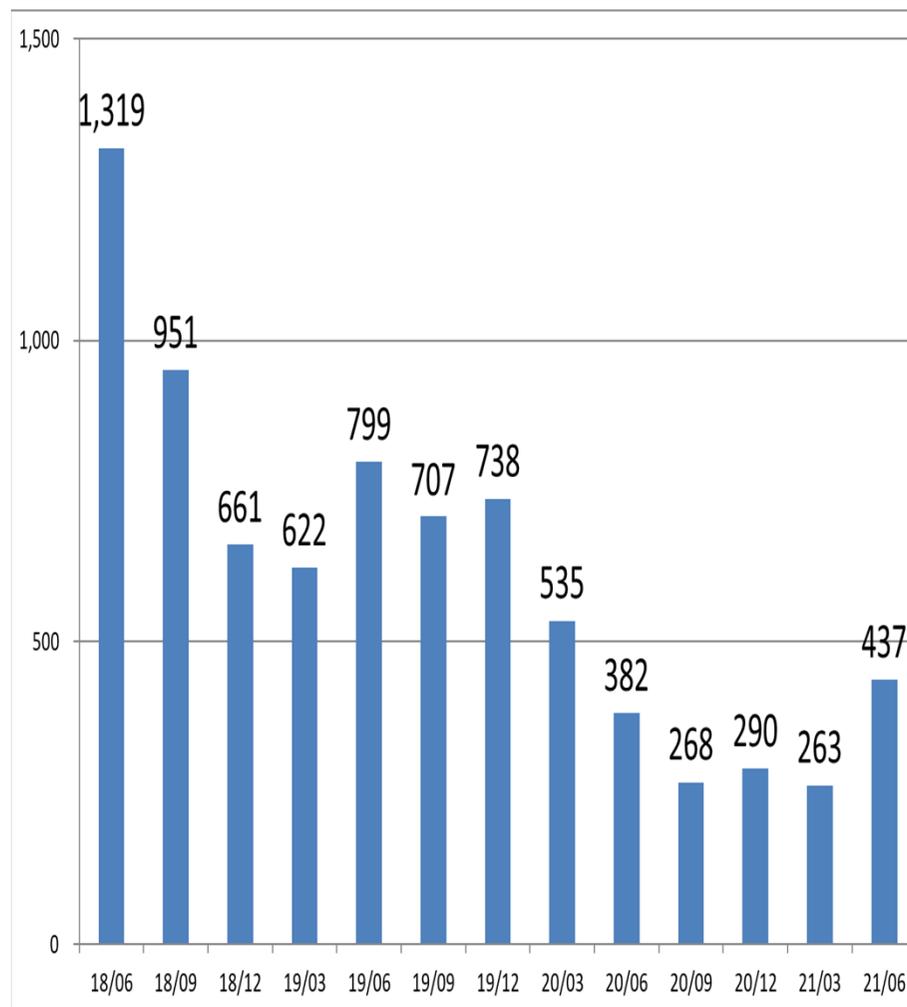
# インバウンド需要は底打ち？



圧倒的人気のマノCC シリーズ



エピステム ステムサイエンス  
 スドリンク



インバウンド関連四半期売上の推移

# アジア 急回復

|      |           |       |        |
|------|-----------|-------|--------|
| 売上高  | 108億44百万円 | 前年同期比 | 30.7%増 |
| 営業利益 | 16億03百万円  | 同     | 52.1%増 |

□ 主力の中国・香港が回復傾向。

□ ASEAN諸国も堅調。

|          |       |         |       |
|----------|-------|---------|-------|
| □ 中国     | 36%増収 | (29%増収) | 12月決算 |
| □ 香港     | 42%増収 | (40%増収) | 2月決算  |
| □ ベトナム   | 14%増収 | (16%増収) | 12月決算 |
| □ インドネシア | 5%増収  | (10%増収) | 12月決算 |
| □ 台湾     | 21%増収 | (12%増収) | 2月決算  |
| □ マレーシア  | 27%増収 | (19%増収) | 2月決算  |

( ) 現地通貨比較

※前年同期を新基準にした際の比較

# アメリカ・ヨーロッパ 他

## □アメリカ

売上高 20億21百万円 前年同期比 △5.1%減  
営業利益 1億06百万円 前年同期△69百万円

□メンソレータム軟膏は反動減

□ブラジルが新型コロナウイルスの影響で減収



## □ヨーロッパ

売上高 25億80百万円 前年同期比 39.3%増  
営業利益 2億35百万円 同 300.1%増

□主力の消炎鎮痛剤や「肌ラボ」が堅調

□日焼け止めなど化粧品に回復の兆し



※前年同期を新基準にした際の比較

## 通期業績予想は据え置き

---

### □進捗率（過去5年平均）

|        |       |         |
|--------|-------|---------|
| □売上高   | 23.3% | (22.0%) |
| □営業利益  | 26.0% | (20.4%) |
| □経常利益  | 27.3% | (21.7%) |
| □当期純利益 | 27.7% | (23.8%) |

□天藤製薬の業績寄与は下期に反映予定

□ OTCリーディングカンパニー  
へ進化

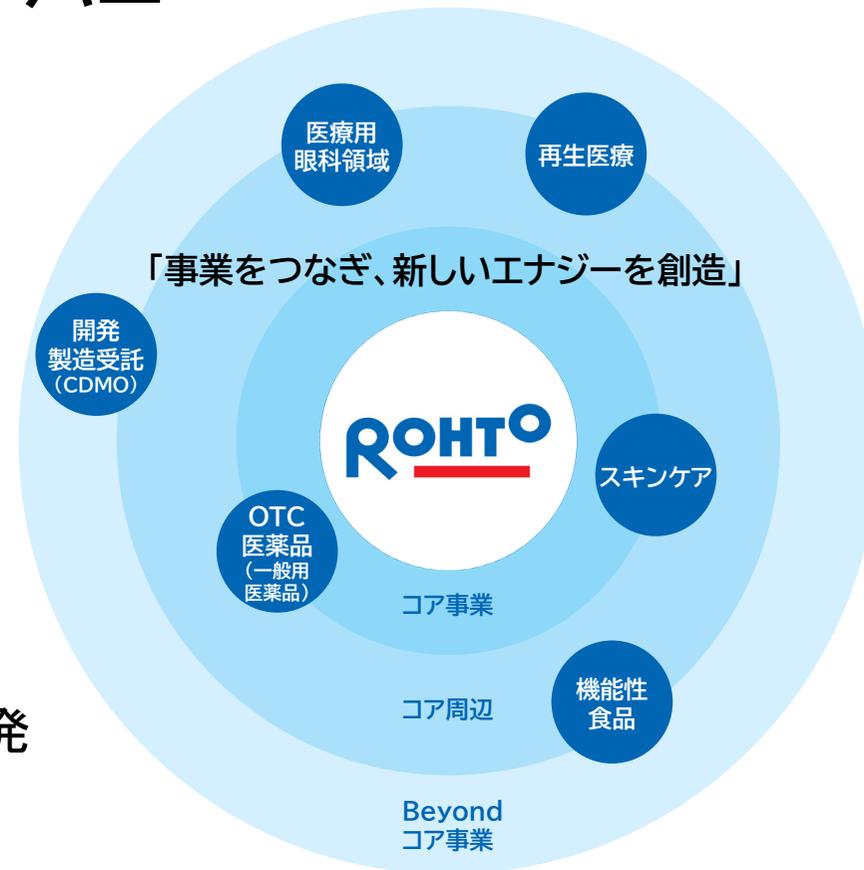
- スキンケア領域
- 機能性食品

□ 医療用医薬品

- 再生医療
- 眼科領域

新薬開発・医療機器開発

□ 開発製造受託(CDMO)

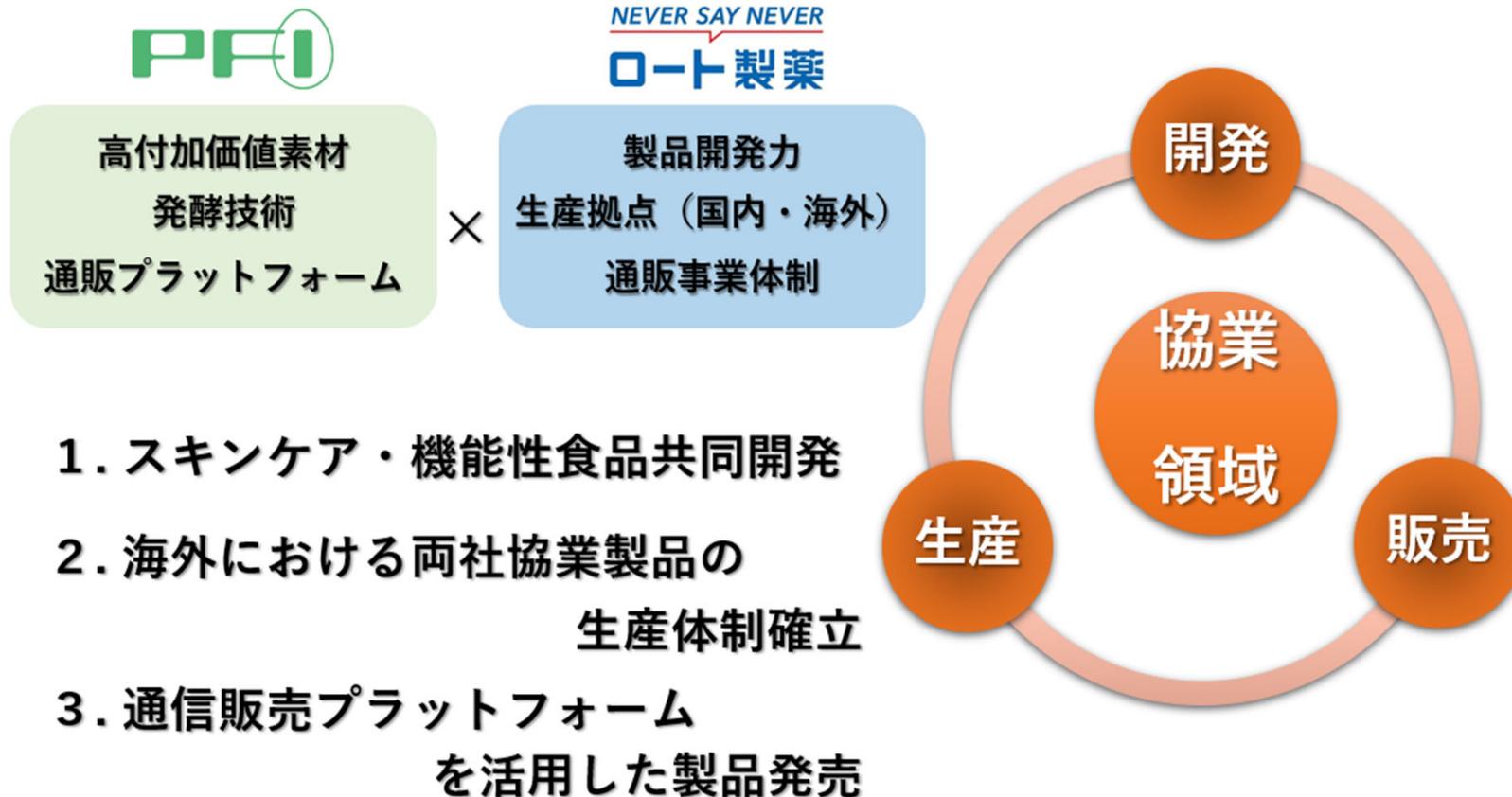


## 天藤製薬の子会社化

- 『日本におけるOTC医薬品リーディングカンパニーを目指す』に向けたアクション
- 天藤製薬の既存事業からの利益貢献に加え、ロートの海外インフラを活用した新規の展開により、グループとしての価値向上を目指す



## 重点領域における開発・生産・販売力の強化



# COVID-19重症肺炎症患者を対象とする ADR-001の第Ⅱ相試験を開始

## □ ADR-001とは

当社で開発を進めている他家脂肪組織由来幹細胞を構成細胞とする細胞製剤

## □ 背景

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化に伴う炎症反応は、免疫細胞がウイルスと戦うために作るサイトカインが制御不能となって放出され続ける現象が影響していると言われている。

間葉系幹細胞は、複数のメカニズムによる抗炎症効果があると言われており、開発を進めている他家脂肪組織由来幹細胞はCOVID-19 治療薬が奏功しない患者に効果が期待される。

## □ 経緯

- 2020年8月から開始していた第Ⅰ相試験において一定の安全性を確認
- 2021年6月から主要評価項目を有効性とした第Ⅱ相試験を開始（～2022年9月）

## □ 治験概要

ランダム化プラセボ対照二重盲検群間比較試験（予定症例数 20例）

# 【MAQUIA】ベスト・オブ・ベスト大賞 **ロート製薬**

| BEST OF BEST |  
**ベスト・オブ・ベスト大賞**

生命力みなぎる本質的な美への欲求が高まり、肌が本来持つ力を引き出す新製品が  
 続々登場した今期、最強の布陣の中から、見事栄冠を勝ち取ったコスメがこちら！

**オバジ**  
**オバジC25セラム ネオ**

12ml ¥11000 / ロート製薬

**1048**点

MAQUIA BEST OF BEST 2021 SS  
 美容ジャーナリスト 安倍佐和子 さんが解説！

美容ジャーナリスト  
**安倍佐和子**  
 さんが解説！

**ヒュアビタミンCの効果を最大値へと更新**

**極限濃度のビタミンCを  
 極限まで効かせる革命処方**

前作の発売からわずか2年、「オバジがまた、オバジを超えた」と  
 と美のプロを驚愕させた新セラム。今回なんと、発売以来買っ  
 てきたベース処方の改革に着手。医療用医薬品からヒントを得た新  
 処方ではヒュアビタミンCの浸透スピードを引き上げ、毛穴やシミ、  
 シワなどあらゆる肌悩みに対する効果を極限まで高めた。限界を  
 自ら超えていく、ベスト・オブ・ベストの称号に相応しい大作。

ここが  
**スゴイ!**

**毎朝の肌チェックが  
 楽しみになる即効性**

「マルチに働く製品ですが、ご自身の「もっとも困る  
 なる肌悩み」への効果を強く感じる方が多いよう。新  
 処方では効果実感がいまより早く得られるようになったた  
 め、短期間で肌を見て、見た目の変化を実感  
 したい方にこそ、ぜひお試しいただきたいです！」

**ビタミンCの威力を再確認。**  
 ハリ感も透明感も、毛穴の  
 引き締まりも明らかに違う！

美容ジャーナリスト  
 安倍佐和子 さん

まずは弱点に届き、そこから  
 全体を底上げして理想肌を育む。  
**肌悩みを問わないスーパー一滴**

美容ジャーナリスト  
 安倍佐和子 さん

見て、触れて感じる手応えに感動。  
 濃密なハリとツヤ、小ジワさえも  
 整えて、**自信を湛えた肌が育つ**

神崎恵さん

マスク生活で起きた肌の窮地を  
**スピーディに解決。** 人気製品の  
 処方を変える勇氣と英断に拍手！

美容ジャーナリスト  
 安倍佐和子 さん

- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
  - 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
  - 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。
  - 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
-